

2024年3月期決算説明資料
Financial Results
for FY2024

総合警備保障株式会社

SOHGO SECURITY SERVICES CO., LTD.

証券コード 2331 (東京証券取引所 プライム市場)
Securities Code: 2331(TSE Prime Market)



Copyright © ALSOK. All rights reserved.  **ALSOK**
Always Security OK

それでは、ALSOKグループの2024年3月期決算について、ご説明いたします。

1 前期比で増収増益、通期業績予想を達成

- ・売上は14期連続増収、過去最高を更新(M&Aや新規連結化も寄与)
- ・売上・利益共に通期業績予想を達成

2 中期経営計画(GD2025)の実現に向けた取り組みの加速

- ・2025年3月期は、売上5.5%増、経常利益2.2%増を見込む
- ・株主還元の強化(配当性向の見直し、自己株式の取得)

3 ALSOKグループの取り組み

- ・機械警備インフラを活用したALSOK 設備レスキュー、HOME ALSOK Connectの販売拡大
- ・報告セグメント変更について(2025年3月期第1四半期から) 等

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

まずはじめに、「本日本お伝えしたいこと」についてです。

第1に、2024年3月期決算は、前期比で増収増益、通期業績予想を達成しました。警備需要の回復に加えM&Aや新規連結化の寄与もあり、売上は14期連続増収、過去最高を更新しています。

第2に、中期経営計画についてです。

2025年3月期の売上予想は、コロナ前を上回る成長率を見込んでいます。GD2025の実現に向け、M&Aも積極的に活用しながら業績拡大を図るとともに、株主還元を強化するなどROE向上への取り組みを進めてまいります。

第3に、ALSOKグループの取り組みについてです。

営業面では、機械警備インフラを活用したALSOK 設備レスキューやHOME ALSOK Connectの販売拡大等に取り組んでおります。

管理面では、2025年3月期第1四半期から報告セグメントを変更いたします。

1 決算概要

2 業績予想

3 ALSOKグループの取り組み

本日、ご説明する順番は、第1に「2024年3月期決算概要」

第2に、「2025年3月期の業績予想」

第3に、「ALSOKグループの取り組み」についてです。

1 決算概要

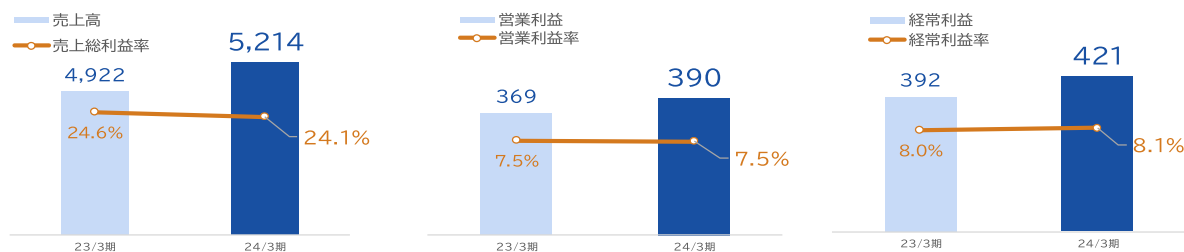
2 業績予想

3 ALSOKグループの取り組み

それでは、「2024年3月期の決算概要」についてご説明いたします。

売上高・各利益の推移

(単位:億円)



前期比

(単位:億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	前期比	増減率
売上高	4,922	5,214	291	5.9%
営業利益	369	390	20	5.6%
経常利益	392	421	29	7.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	239	273	33	14.1%

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

5 ページは、「売上高・利益の状況」についてです。

2024年3月期決算は、前期比で増収増益となり、業績予想対比でも、売上高・利益ともに達成しました。

■ 前期比

(単位:億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	前期比	増減率	(参考)営業利益・営業利益率			
					23/3期 実績		24/3期 実績	
セキュリティ事業	3,663	3,826	163	4.5%	372	10.2%	378	9.9%
総合管理・防災事業	729	783	54	7.4%	76	10.5%	83	10.7%
介護事業	474	509	34	7.3%	5	1.1%	13	2.6%
その他	53	93	40	74.2%	9	17.8%	9	10.0%
合計	4,922	5,214	291	5.9%	369	7.5%	390	7.5%
(参考) 海外でのサービス提供	63	157	94	149.7%	※各報告セグメントに配分していない全社費用については、 記載を省略しております。			

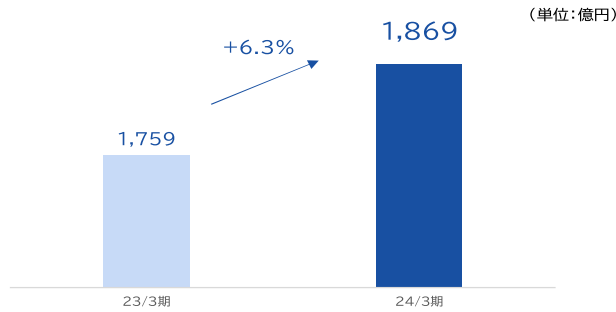
Copyright © ALSOK. All rights reserved.

6 ページからは「セグメント別売上高の状況」についてです。

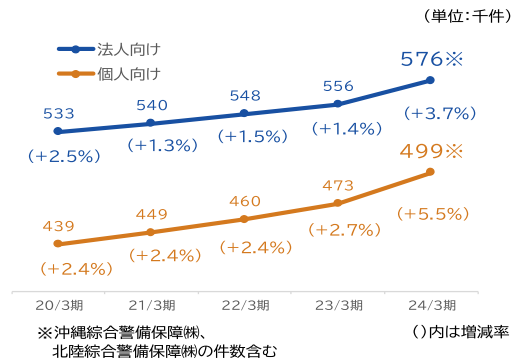
前期比については、セキュリティ事業は4.5%増の3,826億円、総合管理・防災事業は7.4%増の783億円、介護事業は7.3%増の509億円でした。この売上高には、SOS社のM&Aや沖縄総合警備保障、北陸総合警備保障の新規連結による寄与が含まれており、関係セグメントの契約件数にも影響しています。

なお、コロナ関連売上は、セキュリティ事業を中心に前期比で100億円程度減少しました。

■ 売上高の推移



■ 法人・個人向け件数の推移



■ 前期比

(単位: 億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	前期比	増減率
売上高	1,759	1,869	110	6.3%
契約収入	1,399	1,429	30	2.2%
工事	56	73	16	29.0%
売却	303	366	63	21.0%

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

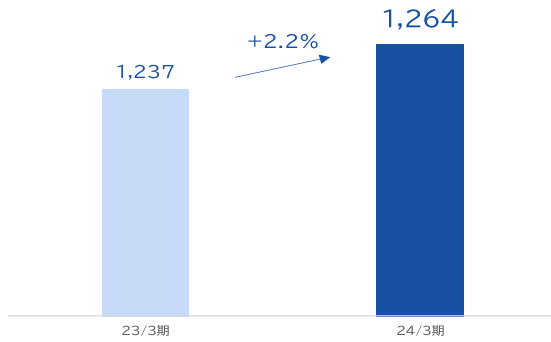
7 ページは、「機械警備業務の状況」についてです。

機械警備業務の売上高は、契約件数が順調に増加し、契約収入が前期比2.2%増となりました。工事収入は29.0%増、売却収入は21.0%増となり、全体で前期比6.3%増の1,869億円となりました。

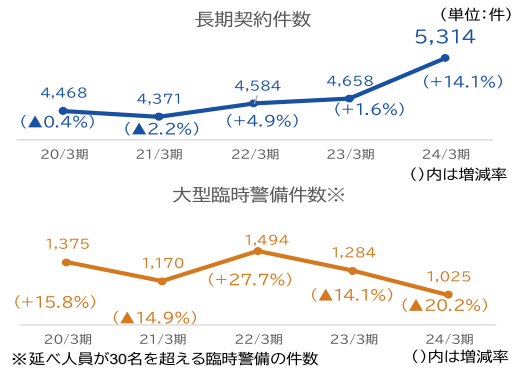
法人向けの機械警備件数は、ライブ画像を確認する機能を標準装備とした、「ALSOK-G7」の販売を推進した結果、前期比3.7%増の約57万6千件となりました。

個人向けの機械警備件数は、昨年4月から販売を開始した「HOME ALSOK Connect」や「HOME ALSOK みまもりサポート」等を中心に、前期比で5.5%増の約49万9千件となりました。

■ 売上高の推移



■ 長期契約・大型臨時警備件数の推移



■ 前期比

(単位:億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	前期比	増減率
売上高	1,237	1,264	2.7	2.2%

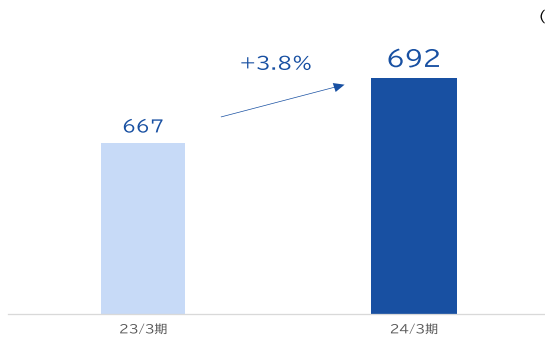
Copyright © ALSOK. All rights reserved.

8 ページは、「常駐警備業務の状況」についてです。

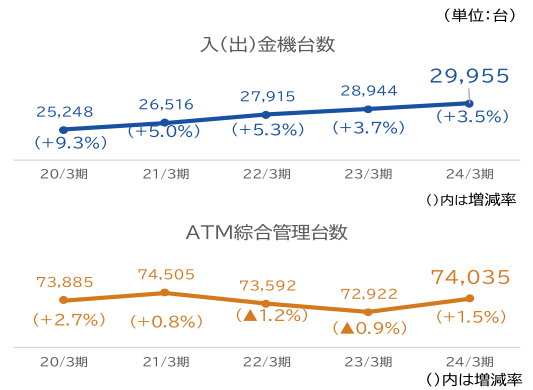
常駐警備業務の売上高は、コロナ関連売上が減少したものの、長期契約の受注が堅調に推移したことや各種イベント、G7広島サミットの売上等により、前期比2.2%増の1,264億円となりました。

当社グループは短期間に大人数の動員を可能とする組織力、DXを活用した総合的な警備提案力を活かして、大型警備等の受注に注力していきます。

■ 売上高の推移



■ 入(出)金機・ATM台数の推移



■ 前期比

(単位:億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	前期比	増減率
売上高	667	692	25	3.8%

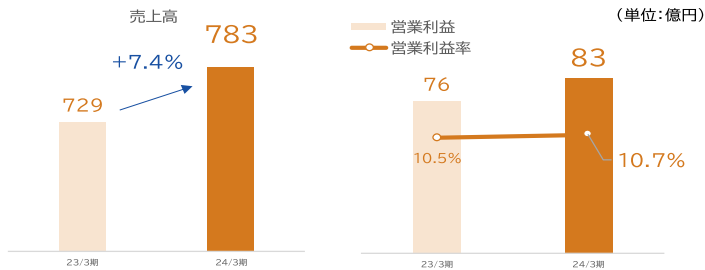
9 ページは、「警備輸送業務の状況」についてです。

警備輸送業務の売上高は、電子交換所での手形・小切手交換決済開始に伴う売上減少もありましたが、省人化を背景とする地域金融機関の現金管理アウトソースや改刷対応による影響もあり、前期比3.8%増の692億円となりました。

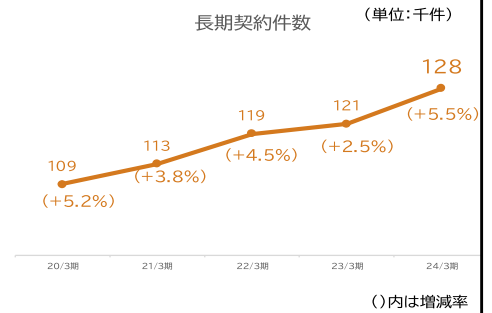
キャッシュレス化進展の中においても、現金管理の合理化ニーズは根強く、当社が管理する入(出)金機オンラインシステムの総台数は、前期比3.5%増の約3万台となりました。他方、金融機関の合理化の動きが進み、日本全体のATM台数は減少傾向ですが、当社が管理するATMの台数は、前期比1.5%増の約7万4,000台となりました。

当社は、引き続き現金の管理運用のみならず、金融機関、事業法人、公共法人の業務効率化や人手不足から生じる各種業務のアウトソース需要を取り込んでまいります。

■ 売上高・利益の推移



■ 長期契約件数の推移



■ 前期比

(単位: 億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	前期比	増減率
売上高	729	783	54	7.4%
契約収入	345	365	20	6.0%
工事	246	263	16	6.6%
売却	138	155	16	12.2%
営業利益	76	83	7	9.2%
営業利益率	10.5%	10.7%	-	-

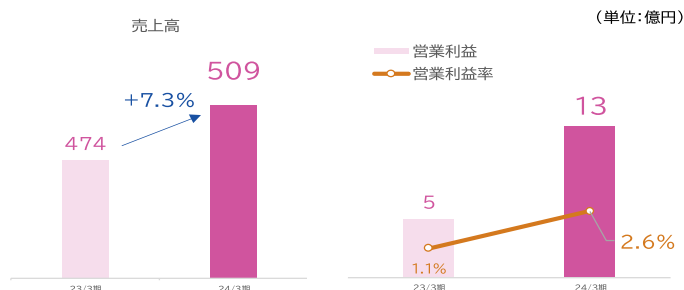
Copyright © ALSOK. All rights reserved.

10 ページは、「総合管理・防災事業の状況」についてです。

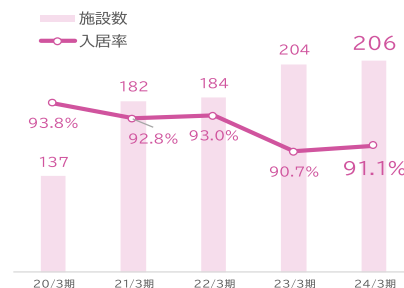
長期契約の受注や建設工事部門の完工高が堅調に推移したことに加え、省エネ関連機器売上の増加もあり、総合管理・防災事業の売上高は、前期比7.4%増の783億円となりました。

当社は、各種施設の設備点検や清掃サービスを中心に、ファシリティマネジメント業務の拡大に努めてまいります。

■ 売上高・利益の推移



■ 入居率と施設数の推移



■ 前期比

(単位: 億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	前期比	増減率
売上高	474	509	34	7.3%
営業利益	5	13	7	147.7%
営業利益率	1.1%	2.6%	-	-

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

11 ページは、「介護事業の状況」についてです。

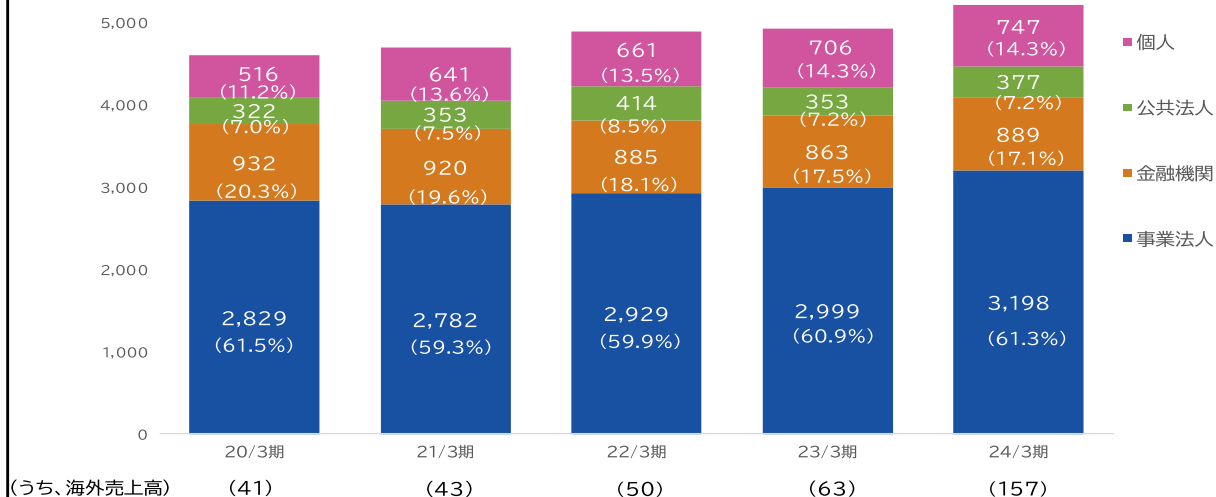
介護事業の売上高は、施設等の入居率が前期末に比べ0.4ポイント上昇したことや、M&A効果により、前期比7.3%増の509億円となりました。増益となった主な要因は、利用者数の回復やコスト低減によるものです。

当社は、介護ロボットやセンサー等のDXを活用した業務効率化を推進するとともに、収益性の改善に向けサービス利用客の拡大および入居率の向上に努めてまいります。

■ 売上高の推移

()内は構成比率

(単位:億円)



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

12 ページは、「顧客セグメント別売上高の推移」についてです。

一番右側のグラフが2024年3月期決算の実績を示しており、下から、事業法人向けは、前期比6.6%増加し、3,198億円、金融機関向けは、同じく3.1%増加し、889億円、公共法人向けは、同じく6.8%増加し、377億円、個人向けは、同じく5.9%増加し、747億円でした。

うち、海外でのサービス提供による売上高は、149.7%増の157億円でした。

実績

(単位:億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	前期比	増減率
売上高	4,922	5,214	291.7	5.9%
売上原価	3,709	3,956	246.8	6.7%
労務費	1,710	1,878	168.2	9.8%
外注費	605	558	▲46.9	▲7.8%
減価償却費	142	149	7.7	5.4%
その他原価	624	673	49.9	8.0%
工事・売却原価	628	696	67.8	10.8%
販売管理費	842	866	23.9	2.8%
広告宣伝費	20	22	1.6	8.2%
人件費	505	529	24.1	4.8%
減価償却費	36	37	0.3	0.9%
その他販管費	279	277	▲2.2	▲0.8%
営業利益	369	390	20.8	5.6%

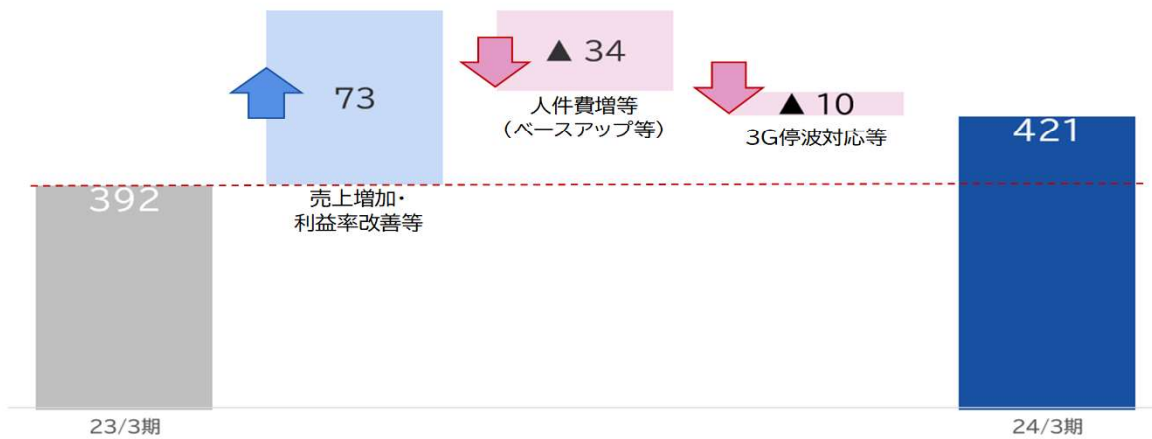
Copyright © ALSOK. All rights reserved.

13 ページは、各費用項目について、前期比で示したものです。

売上原価は、労務費が168億円増加したことや、工事・売却原価が67億円増加したことにより、前期比で246億円増加しました。販売管理費は、前期比で23億円の増加となりました。

これらの増加した主な要因は、M&Aや新規連結化による影響、ベースアップや賞与増等の従業員の処遇改善によるものです。

(単位: 億円)



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

14 ページは、2024 年 3 月期の経常利益の増減を 2023 年 3 月期と比較したものです。

2024 年 3 月期の経常利益は、「売上増加・利益率改善等」で 73 億円の増益、「人件費増等」で 34 億円の減益、「3G 停波対応等」で 10 億円の減益となり、前期比 7.5% 増の 421 億円となりました。なお、人件費に及ぼすコロナ禍の影響は、前期と比べ大幅に低減しており、利益改善の一因となりました。

(単位:億円)	23/3期末	24/3期末	前期末比	(単位:億円)	23/3期末	24/3期末	前期末比
流動資産	2,390	2,520	130	流動負債	988	1,004	16
現金及び預金	592	769	177	支払手形及び買掛金	296	285	▲11
警備輸送業務用現金	837	742	▲95	短期借入金	78	69	▲8
受取手形、売掛金及び契約資産	653	690	36	未払金	211	234	23
その他	306	318	11	その他	402	415	12
固定資産	2,776	3,155	378	固定負債	738	804	65
有形固定資産	1,164	1,203	39	長期借入金	20	16	▲4
無形固定資産	441	406	▲34	リース債務	378	360	▲17
投資その他の資産	1,169	1,544	374	退職給付に係る負債	273	268	▲4
				その他	66	159	92
				負債合計	1,727	1,809	82
				株主資本	3,083	3,220	136
				その他の包括利益累計額	64	308	243
				非支配株主持分	290	336	46
				純資産合計	3,438	3,865	426
資産合計	5,166	5,675	509	負債純資産合計	5,166	5,675	509

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

15 ページは、貸借対照表の主な項目を表示しています。

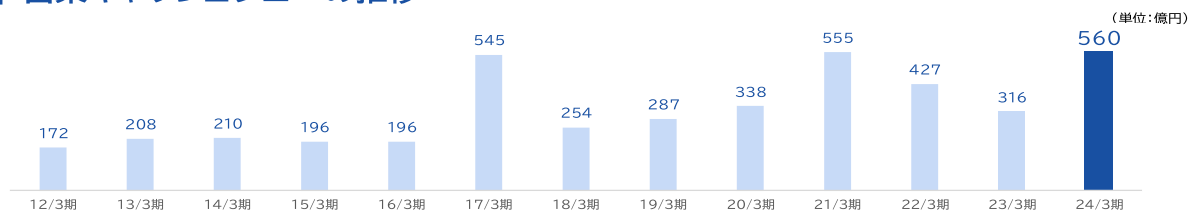
当連結会計期間における総資産は、前期末比で509億円増加し、5,675億円となりました。現金および預金が177億円、運用資産の評価額が増加したことを受け退職給付に係る資産が332億円、投資有価証券が55億円増加した一方、警備輸送業務用現金が95億円減少した結果です。

負債の部は、前期末比82億円増加し、1,809億円となりました。未払消費税等が29億円、繰延税金負債が92億円増加した一方、リース債務が17億円減少した結果です。

実績

(単位:億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	前期比	増減率
営業CF	316	560	243	77.0%
投資CF	▲248	▲169	79	▲31.9%
財務CF	▲193	▲215	▲21	11.0%
現金および現金同等物の 期末残高	515	691	175	34.1%
フリーCF	68	391	322	470.3%

営業キャッシュフローの推移



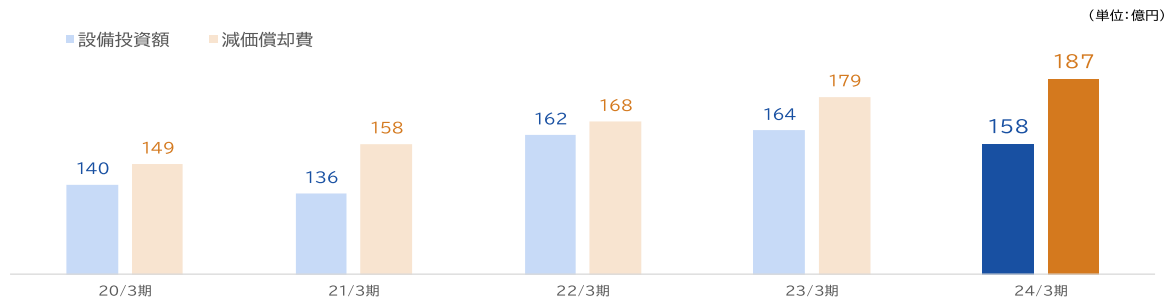
Copyright © ALSOK. All rights reserved.

16ページは、キャッシュ・フローについてです。

営業活動の結果、増加した資金は、「560億円」、
投資活動の結果、使用した資金は、「169億円」となりました。

財務活動の結果、減少した資金は、「215億円」です。

設備投資・減価償却費の推移



前期比

(単位: 億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	前期比	増減率
設備投資	164	158	▲5	▲3.3%
減価償却費	179	187	8	4.5%

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

17ページは、設備投資および減価償却費についてです。

2024年3月期の設備投資は、158億円となりました。

減価償却費は、主に新規受注に伴う警備用機器等によるもので、187億円となりました。

1 決算概要

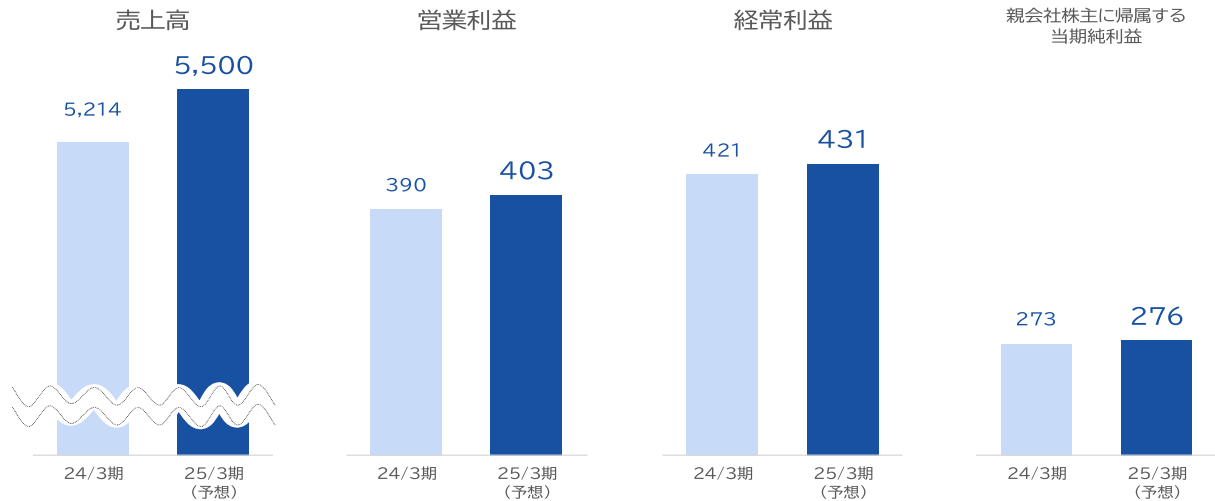
2 業績予想

3 ALSOKグループの取り組み

18ページからは、「2025年3月期の業績予想」についてです。

■ 25/3期 通期業績予想

(単位:億円)



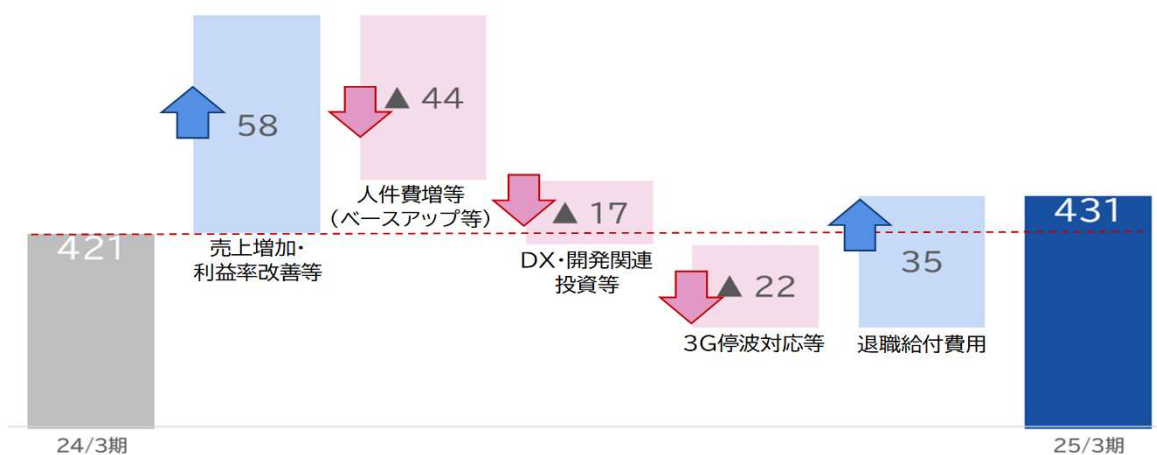
Copyright © ALSOK. All rights reserved.

19ページは、2025年3月期の通期業績予想を、2024年3月期の実績と対比したものです。

売上高については、緩やかな景気回復の継続や体感治安の悪化による警備需要の拡大等により前期比5.5%増の5,500億円を見込んでいます。

経常利益については、売上増加に加え、インフレ等を背景とした価格改定やDXによる効率化などを推進してまいります。一方で、ベースアップ等による社員への還元強化や、コロナ禍や半導体不足の影響により進捗が思わしくなかった3G停波対応に伴う費用増等もあり、前期比2.2%増の431億円となる見込みです。

(単位:億円)



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

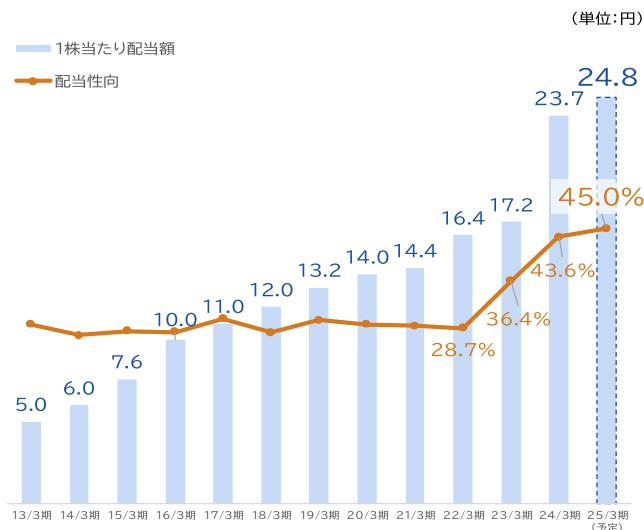
20ページは、2025年3月期の経常利益の増減を2024年3月期と比較したものです。

2025年3月期の経常利益は、前期比10億円の増益を予想しております。その増減要因として、

- ・売上増加・利益率改善等で プラス58億円
- ・ベースアップ等による人件費増等で マイナス44億円
- ・DX・開発関連投資等で マイナス17億円
- ・3G停波対応等で マイナス22億円
- ・退職給付費用で プラス35億円

となり、前期比2.2%増の431億円を見込んでおります。

1株あたり配当金の推移



25/3期(予定)

24.8円/年
(中間:12.4円)
(期末:12.4円)

※業績の変動により変更することがあります。

・配当性向の見直し

従来の目安:30%

→40%~50%を目安に安定配当を目指す。

→6.3円増配(24/3期期末配当)

・自己株式の取得

150億円(上限)

今後も、経営環境に応じて総合的に判断していきます。

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

21ページは、株主還元についてです。

本日、配当性向の見直しおよび自己株式の取得に関して発表いたしました。

配当性向について、従来は30%を目安としておりましたが、株主の皆様への利益還元
の更なる充実のため、今後は、40から50%を目安といたします。

これに伴い、2024年3月期の期末配当予想については、1株あたり6.3円増配し、
中間配当を含めた年間配当は23.7円といたします。これで12期連続増配となります
が、当社は引き続き、安定配当を目指してまいります。

2025年3月期の年間配当予想は1株あたり24.8円となりますが、業績の変動に
より変更することがあります。

また、昨年に引き続き、自己株式の取得を決定いたしました。堅調な業績推移が見込ま
れる中、適切な内部留保を保ちつつ、DXやM&A等の成長投資を実施できる状況に
なってきたことから、150億円を上限として実施いたします。

これらにより、2025年3月期の総還元性向は約100%を見込んでいます。

1 決算概要

2 業績予想

3 **ALSOKグループの取り組み**

22ページからは、「ALSOKグループの取り組み」についてです。

■ 機械警備インフラを活用した新サービス

「防犯」の枠を超え、現場に残ったさまざまな課題を解決

「ALSOK設備レスキュー」～2024年2月提供開始～

・マンションやビル等の設備異常発生時、ガードマンが駆けつけ、DXを活用して専門家と連携、原因究明や応急処置を実施

【サービスイメージ】



販売エリア：東京都、神奈川県を中心に拡大中

機械警備の
オプションサービス
として提供

「ALSOK ITレスキュー」～2023年3月提供開始～

・IT機器関連のトラブル対応サービス

【レスキューサービスのコンセプト】



警備事業で培った
24時間365日
駆けつけ可能な体制



専門家による業務支援
をDXで実現



▶ 社会課題(人手不足、設備老朽化等)に対応

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

23 ページは、機械警備インフラを活用した新サービスについてです。

「ALSOK ITレスキュー」に続き、本年2月に「ALSOK 設備レスキュー」の提供を開始しました。

機械警備インフラを活用した本サービスは、マンションやビル等の設備異常発生時、ガードマンが駆けつけ映像通話で専門家と連携し、現地で応急処置をするものです。

現在は、東京23区と神奈川県内の法人向け機械警備サービスをご利用いただいているお客様を中心に、オプションサービスとして提供しています。なお、本年7月からはサービス展開地域を全国へと拡大する予定です。

HOME ALSOK Connectの販売拡大に向けて

Topics

「スマホゲート」の販売を開始

～2024年5月～

スマホ認証機能を搭載

【ポイント】

- ①スマホに反応し、自動で警備を解除
- ②ワンタッチで警備を開始
- ③スマホの持ち忘れをお知らせ

HOME ALSOK Connect



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

24 ページは、HOME ALSOK Connectの販売拡大に向けた取り組みについてです。

本年5月より、「HOME ALSOK Connect」の警備操作器として、スマホ認証機能を搭載した「スマホゲート」の販売を開始しました。

スマホ認証機能により、外出時にはワンタッチでの警備操作が可能となることに加え、スマホの有無を音声等でお知らせしますので、スマホの持ち忘れ防止にも役立ちます。帰宅時には、両手がふさがっていても、自動で警備の解除が可能です。

■ 情報セキュリティサービスの拡充

～24時間365日のサポート体制で安全・安心を提供～

Topics①**ホームページ改ざん検知・復旧サービス**

～2023年10月提供開始～

ECサイト等の改ざんを瞬時に検知・復旧することで、お客様の機会損失防止に貢献

Topics②**ALSOK EDRサービス**

～2024年1月提供開始～

ウイルス対策だけでは防げない高度なサイバー攻撃に対し、「AIによって自動で脅威に対処・復旧」を実現



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

25ページは、情報セキュリティサービスの拡充についてです。

年々増加傾向にあるサイバー空間での犯罪に対応すべく、「ホームページ改ざん検知・復旧サービス」および「ALSOK EDRサービス」の提供を開始しました。

ご契約先のPCやホームページは「ALSOK情報警備監視センター」にて常時監視しており、お客様からのお問い合わせにも、24時間365日、対応可能です。

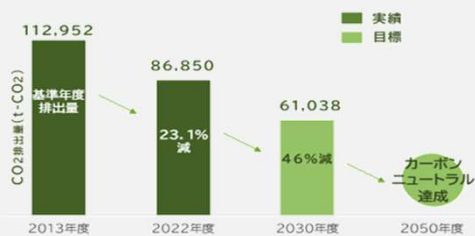
引き続き、巧妙化するサイバー犯罪等に対するサービス提供を強化してまいります。

■ 持続可能な社会の実現に向けて

●GXリーグへの参画(2023年5月)



ALSOKグループのCO2削減実績と目標



●人権方針の策定(2023年11月)



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

26 ページは、持続可能な社会の実現に向けた取り組みについてです。

昨年5月には、GXリーグに参画いたしました。引き続き環境配慮車両の導入、警報機器のリユース促進等を通じて、2050年のカーボンニュートラル実現を目指してまいります。

また、近年の企業活動における人権に対する意識の高まりを受け、昨年11月には人権方針を策定いたしました。サプライチェーン全体に配慮し、基本的人権を尊重してまいります。

■ 報告セグメントの変更について
2025年3月期第1四半期から報告セグメントを変更

【背景】

- ①2024年3月期より開始した7事業部制と報告セグメントの整合
- ②PT. Shield-On Service Tbk (SOS社)の連結開始による海外事業の規模拡大

～現在～

報告セグメント	事業セグメント
セキュリティ事業	機械警備業務 常駐警備業務 警備輸送業務
総合管理・防災事業	総合管理・防災事業
介護事業	介護事業
その他	その他

～2025年3月期第1四半期から～

報告セグメント	事業セグメント
セキュリティ事業	機械警備事業 HOME ALSOK事業 常駐警備事業 警備輸送事業
FM事業等 ※	FM事業
介護事業	介護事業
海外事業	海外事業

※総合管理・防災事業にその他の一部を組み入れFM事業等に改称

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

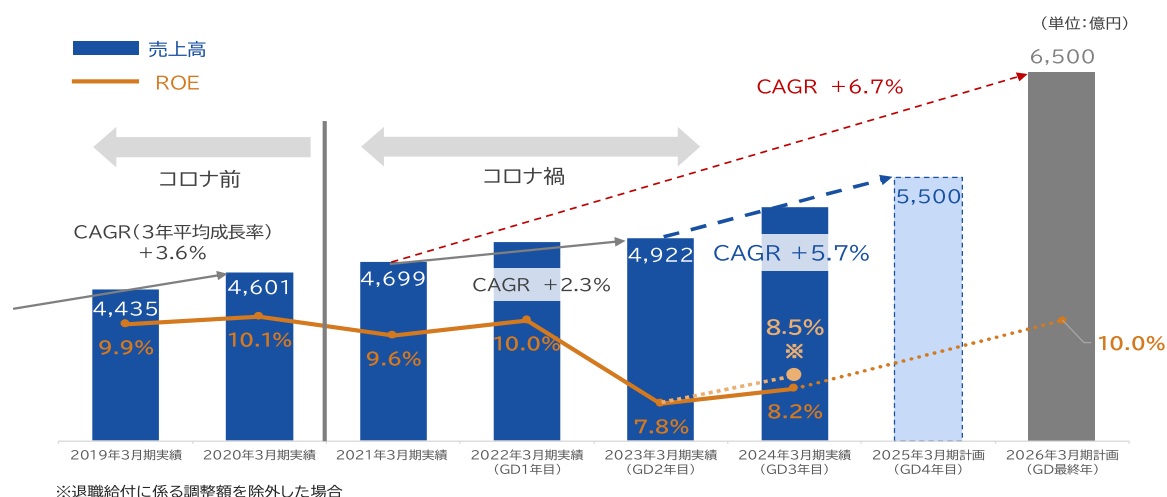
27ページは、報告セグメントの変更についてです。

当社は、昨年4月から7事業部制へ移行し、事業別収支管理の強化に努めております。

SOS社の連結により海外事業規模が拡大することから、2025年3月期第1四半期決算より、報告セグメントを①セキュリティ事業、②FM事業等、③介護事業、④海外事業といたします。

その他には、情報セキュリティ関連やPCR・食品検査事業、海外売上等が含まれていましたが、新たな報告セグメントに振り分けられます。

GD2025の進捗について



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

28ページは、「GD2025の進捗」についてです。

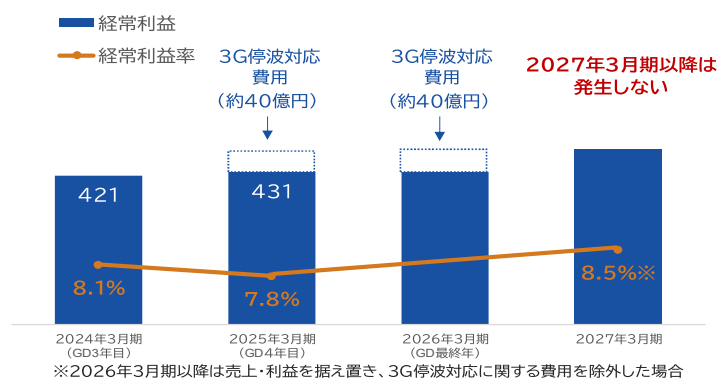
2023年3月期までの進捗は、コロナ禍等の影響もあり、思わしくありませんでしたが、警備等需要は堅調に回復し、改善傾向となっています。

M&Aを積極的に活用しながら業績拡大を目指すとともに、機械警備インフラを活用したサービスの販売やDX推進などで既存事業の成長と利益率の改善を図ってまいります。また、株主還元を強化するなどROE向上への取り組みを進めてまいります。

■ GD2025の財務指標(経常利益率・ROE)

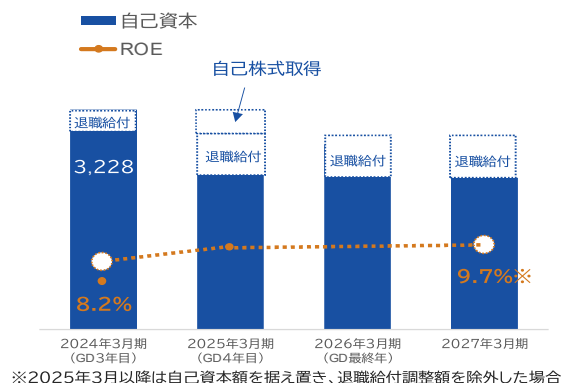
・経常利益率

(単位:億円)



・ROE

(単位:億円)



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

おわりに、「GD2025の財務指標」についてです。

3G停波に関する対応は、コロナ禍により進捗が遅れが生じているとともに、物価高等により想定以上にコストが増大していることから、2025年3月期の業績予想における経常利益率は前年実績を下回っております。

仮に2026年3月期以降の売上・利益を横置きして、この影響を除外した場合には8.5%程度であると評価しています。この3G停波の対応は2026年3月期までに完了して、2027年3月期以降は発生しませんので、経常利益および経常利益率の押し上げに資する見込みです。

ROEについては、2024年3月期は8.2%となりました。自己資本に含まれる退職給付に係る調整額が220億円増加したことが、押し下げ要因となっており、この影響を控除した場合には約8.5%であると評価できます。その前提において、今期実施予定の150億円の自己株式取得も考慮すると、9.7%と評価できます。

今後も、利益の動向や将来の成長のための投資にも配慮しながら自己資本のコントロールを適切に行い、中期計画のROE10%を目指していきたいと考えております。

以上で説明を終わります。

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。

そのため、実際の業績につきましては、経済情勢・競合状況・技術革新等のさまざまな要因により、これら見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。

なお、過去セグメント別実績については、会計基準に基づき、前期分のみ組み替えています。